

(一社) 津田塾大学同窓会主催

英語英文勉強会

日本の英語教育における諸問題

講師：グレゴリー・クラーク氏

(多摩大学名誉学長、津田塾大学評議員)

●日時：6月23日(土) 13:30-15:30

●場所：千駄ヶ谷キャンパス 2階 会議室

語学を習得するには強い動機が必要。

その動機を高めるのに不可欠なコミュニケーション願望は教室の中で作るのには難しい。適切な教材や学習方法も必要。たとえば、CDを用いた学習方法で大いに力をつける。その後教師との密接な関係で行う個別の筆記テストや会話テストを通じて語学力を高める効果抜群の学習法がある。どのように動機を高め、学習の質を高めたら良いか、6カ国語に堪能で国際問題に精通したクラーク先生が語ります。



グレゴリー・クラーク (Gregory Clark)

1936年英国ケンブリッジ生まれ。豪州で育つ。16歳で英国オックスフォード大学に入学。地理学専攻、修士課程を終了。豪州外務省の中国担当官、フルシチョフ時代に駐ソ大使館一等書記官、ジ・オーストラリアン紙の東京支局長、ホイットラム政権の政策顧問などを経て、オーストラリア国立大学でPh.D studies (日本経済)。上智大学教授、アジア経済研究所顧問、多摩大学学長、三井物産戦略研究所顧問などを歴任。1998年以來津田塾大学評議員。他に、住友財団理事、東京外国語大学の顧問委員。過去には千葉大学、一橋大学、大阪外国語大学の顧問としても活躍。秋田県立国際教養大学の設立準備過程から副委員長として関わり、副学長を務め、現在は同大学のトップ諮問会議委員。『国際政治と中国』(アジア経済研究所) 『日本人-ユニークさの源泉』(サイマル出版会) 『なぜ日本の教育は変わらないのですか?』(東洋経済)などの著書がある。ロシア語、中国語は通訳レベルで、仏語、西語、日本語も堪能。現在も国際政治社会問題についてJapan Times等で健筆をふるう。なお、国民経済を考察する際のGNP概念である、第一次産業、第二次産業、第三次産業の「コーリン・クラークの産業分類」は、父であるコーリン・グラント・クラーク(Colin Grant Clark)氏の功績。

参加費 2,000円 (学生 1,000円) →支払いをもって参加申し込み完了です。

申込先(問い合わせ先) 津田塾大学同窓会事務局

申込方法 ①Eメール ②電話 ③HP のいずれかの方法でお申込み下さい。

*同窓会HPでの申込みが便利です。<http://www.tsuda-jyuku.org/>

Eメール: ogoffice@tsuda-jyuku.org 電話: 03-3478-1972 *入金方法は「事業案内」等を参照。